

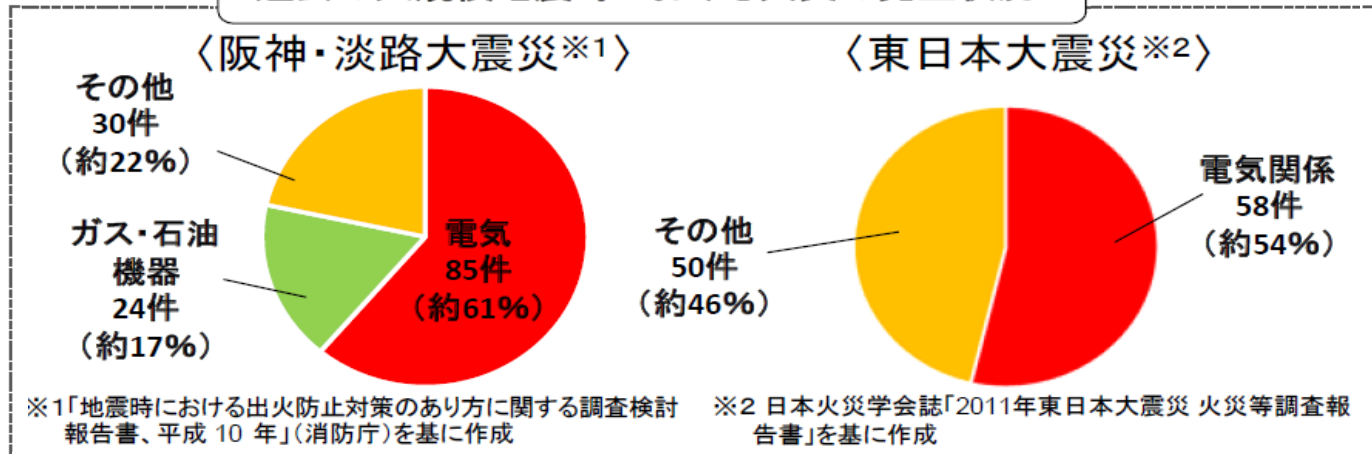
# 消防署だより 泉州南消防組合

春の全国火災予防運動実施 令和8年3月1日(日)～3月7日(土)

## 今、備えよう 大規模地震における電気火災対策 ～感震ブレーカーに関心を！～

大規模地震、それは突然やってきます。大きな被害が発生し避難後の誰もいなくなった部屋で、突然、火災が起こり大切な財産が失われてしまいます。過去の大規模地震では建物の倒壊だけではなく、火災の被害が多く発生しています。平成7年阪神淡路大震災や平成23年東日本大震災などの大規模地震では、火災原因の特定されたもののうち半数以上が電気火災であり、電気起因した火災が多く発生していることがわかります。

### 過去の大規模地震時における火災の発生状況



ではどうして電気関係の火災が多く発生するのでしょうか。地震の揺れで電気ストーブが転倒したり、ストーブに洗濯物が落ちたり、家具が倒れその下敷きで断線した電気コードがショートすることで出火します。こうした電気火災を防ぐには、避難時にコンセントを抜く、ブレーカーを落とすといった対策が必要になりますが、突然の災害時にこうした行動を取ることは難しいものです。

分電盤タイプ (内蔵型)	分電盤タイプ (後付型)	コンセントタイプ	簡易タイプ
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。
約5～8万円 (標準的なもの)	約2万円	約5,000円～2万円	3,000円～4,000円程度
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事が不要

そこで、**大きな関心**を持っていただきたいのが、**感震ブレーカー**を設置するという方法です。

**感震ブレーカー**とは、地震発生時に設定値(震度5強相当)以上の揺れを感知して電気を自動で遮断する装置で、上の表の4つのタイプがあります。地震による火災を防ぐことは自分の家を守るだけではなく、皆さんが住んでいる大切な街を火災から守ることもつながります。平时にしっかりと対策をしておきましょう。

火災や感震ブレーカーの詳細情報はコチラ

↓もっと詳しく↓



電気火災対策